

# 1.8.(1)展開の手引き ～住民検査会場（屋外テント）～

展開目安時間：約240分／5人作業  
(テント組立～運用開始)

## 要員装備

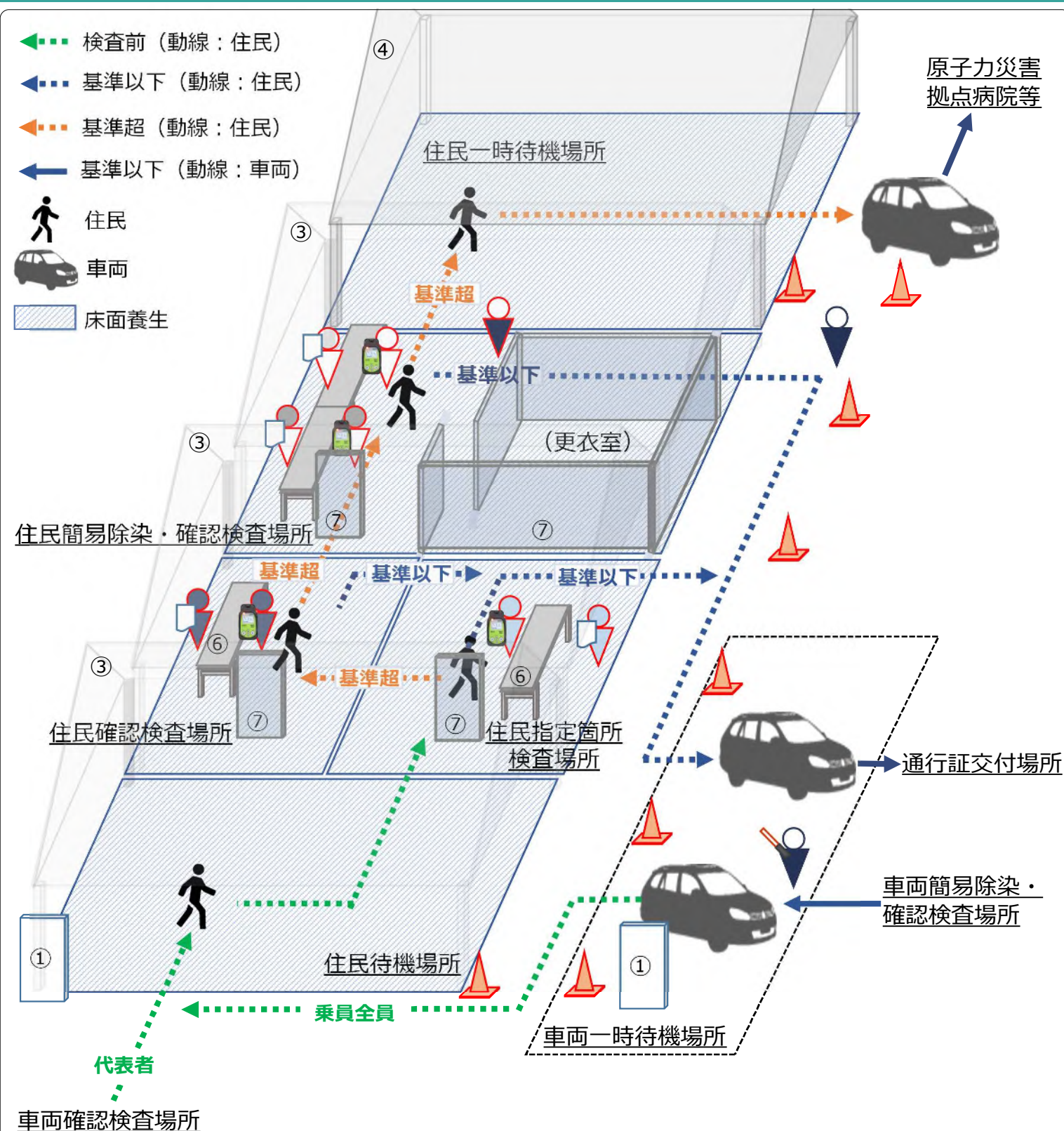
要員	物品
 <b>車両誘導係</b>	 LED誘導棒  LEDベスト
 <b>検査係</b>	 表面汚染検査用測定器  ビブス  サージカマスク  綿手袋  ゴム手袋
 <b>記録係</b>	 筆記用具・検査結果記入用紙  ビブス
 <b>住民誘導係</b>	 LEDベスト

- Point 電子式個人線量計は、同一グループの最も被ばくしやすい者が着用。
- 車両、住民の簡易除染、汚染物質の取り扱いの役割を担う者は、使い捨てがウ、ズボン、帽子等を着用してもよい。

## 設営資機材

 ①各種案内板  ②案内板の固定用重り  ③テント：組立タイプ（約3.6×5.4m、横幕）  ④テント：組立タイプ（約1.8×2.7m、横幕）  ⑤テント重り  ⑥机	 ⑦パレパレーション  ⑧床面養生シート  ⑨ハサミ  ⑩タオル  ⑪ウエットティッシュ  ⑫粘着テープ	 ⑬ウイ入  ⑭除染後の着換え衣類  ⑮ラップフィルム  ⑯廃棄物保管用容器  ⑰除染方法のチラシ	 ⑱大小ポリ袋  ⑲保護用椅子被覆ビニール袋  ⑳養生テープ（緑、青、黄）  ㉑ラップフィルム  ㉒椅子  ㉓照明  (㉔スポットクレー電気ストブ)	 ㉕発電機  ㉖携行缶（ガリン）  ㉗延長コード
--	---	---	--	--

## レイアウト例



- Point 基準以下と基準超で導線が交差しないレイアウトにし、汚染が拡大する可能性を防ぐ。
- 作業場所の床は⑧床面養生シートで養生する。
- 設営資機材⑩～⑱は「住民簡易除染・確認検査場所」に配置する。
- 必要に応じて、⑦パレパレーションで住民のプライバシーを確保する。
- ⑳養生テープは、レイアウト例を参考に案内矢印を色分け(検査前(緑)、基準以下(青)、基準超(黄))をして貼ること。



# 1.8.(1)展開の手引き ～住民検査会場（屋外テント）～

展開目安時間：約240分／5人作業  
(テント組立～運用開始)

## 1. テント組立

(1) 取扱説明書を基に③、④テントの骨組みを組み立てる。



(2) テントの天幕を張り、骨組みの四隅を天幕の紐で仮結びする。



(3) ③、④テントの支柱を片足ずつ立てて筋交を固定し、天幕の紐全てを本結びする。



**Point** 転倒防止のため、支柱を立てたら直ぐに筋交を固定する。  
支柱を立てるときは、指を挟まないよう注意する。

(4) ①ア外を基に③、④テントの配置を調整してから⑤重りで固定し横幕を張る。



**Point** 導線部分は遮らないように横幕を折り込んで張る。

## 2. 床面の養生

(1) ①ア外を基に⑧床面養生シートを③、④テントの床に広げ、⑨ハミで必要な長さにかつする。



**Point** 汚染の可能性がある場所は全て養生する。

(2) ⑧床面養生シートを⑩粘着テープ又は⑤重りで床に固定する。



## 3. 資機材の配置

①ア外を基に資機材を配置する。



**Point** 必要に応じ、夜間は室内灯を設置する。

## 4. 椅子の養生

汚染の恐れがある⑪椅子に⑯保護用椅子被覆ビニール袋を被せ、⑫粘着テープで足元を固定する。



## 5. 案内矢印の作成

①ア外を基に床面に⑰養生テープ（緑、青、黄）を用いて導線の案内矢印を作成する。



**Point** 交差汚染を防ぐため導線を分ける。  
検査前、基準以下、基準超の3種類で色分けする。

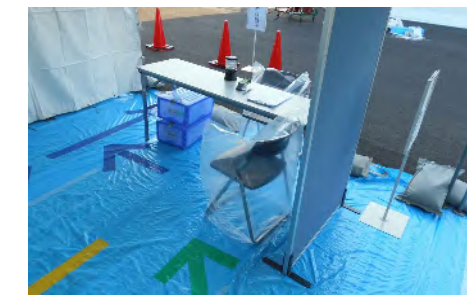
## 配置イメージ



入口



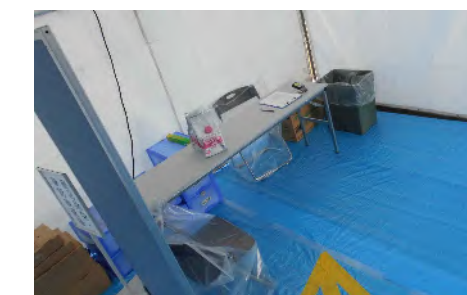
住民待機場所



住民指定箇所検査場所



住民確認検査場所



住民簡易除染・確認検査場所



更衣室